

報道関係各位

2023年3月20日

SUPER FORMULA のマシン「SF23」が自律走行レースに採用 アブダビの先端技術研究機関 ASPIRE 社とのパートナーシップを発表

全日本スーパーフォーミュラ選手権(以下「SUPER FORMULA」)を開催する株式会社日本レースプロモーション(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：上野 禎久、以下「JRP」)は、アラブ首長国連邦のアブダビにおける先端技術研究機関である UAE 先進技術研究評議会 (ATRC) において、プログラム開発を担う ASPIRE 社 (CEO：Dr. Ray O. Johnson) とパートナーシップを締結、同社が自律走行車と AI の研究開発を通じて、2024 年の立ち上げを目指している中東初の自律走行レースリーグの車両として、本年から SUPER FORMULA に導入される Dallara 社製の新型マシン『SF23』が採用されることが決定いたしました。



< 今回の自動運転レースに採用された「SF23」 >

SUPER FORMULA のマシンは世界最高峰のスピードと高い安全性を誇るフォーミュラカーであり、これまでも国内外のレーシングドライバーから注目されてきました。加えて本年『SF23』として進化する上で、カーボンニュートラルの実現とエンターテインメントの向上に向けた取り組み(*1)を進めてきたことが評価され、今回 ASPIRE 社の自律走行レースに採用されることになりました。

ASPIRE 社は自律走行レースと人工知能 (AI) の研究開発というチャレンジを通じ、将来のモビリティの可能性を広げることを目指します。JRP もその目的に共感し、2024 年からの自律走行レース開催に向けて、ASPIRE 社に様々なサポートを実施すると同時に、今回のプロジェクトをきっかけに世界のモータースポーツファンに SUPER FORMULA の魅力を知っていただけるよう、『SFgo(エスエフゴ-)(*2)』などのメディアを通じ、グローバルへの発信を強化してまいります。

4月8日(土)に富士スピードウェイで開幕する2023年シーズンのSUPER FORMULAに、是非ともご注目ください。

*1 『SF23』のカーボンニュートラルの実現とエンターテインメントの向上に向けた取り組み

- ①ボディに麻由来の天然素材等を使用することで、CO2排出量を抑制したバイオコンポジット素材を採用
- ②リサイクル素材や再生可能原料を活用したレーシングタイヤを導入
- ③接近戦でドライバーの力を発揮できるクルマづくりを目指したエアロダイナミクス（空力）の見直し
- ④デジタルプラットフォーム『SFgo(エスエフゴー)』によるファンへの新しい視聴体験の提供
(全選手のオンボードカメラとテレメトリーデータ等をリアルタイムに視聴可能)

*2 デジタルプラットフォーム『SFgo(エスエフゴー)』とは？

SUPER FORMULA の魅力を体感していただくための専用アプリケーション。レース中継の映像と一緒に、ドライバーのあらゆる情報をリアルタイムに楽しみ、オンボードカメラの映像や車両のテレメトリーデータ、高精度 GPS での位置情報、レース中のドライバーとチームスタッフの無線音声まで、あらゆるドライバーの情報を視聴することができます。スマートフォンアプリだけでなく、タブレット端末やパソコン等にも対応しており、1つのアカウントで2つのデバイスで同時視聴が可能のため、ご家庭では大きな画面でレース中継を見ながら、お手元のスマートフォンで個々のドライバーのレースシーンをお楽しみいただけます。

<https://superformula.net/sf3/sfgo/>



本件に関する報道関係者のお問い合わせ先

(株)日本レースプロモーション

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-25 平安堂ビル 3F

Tel.03-3237-0131 Fax.03-3237-0135

広報事務局：上坂

Email: media@superformula.net